



念発起、翌日からランニングを始めた。顔見知りになった仲間と毎朝約10<sup>キロ</sup>のランニングを70歳まで続けた。

地元の老人クラブ会長や市政協力委員などを務め、今も忙しく動き回る一方、自宅での体の手入れにも余念がない。「腕立て伏せはもちろん腹筋、背筋も鍛えてます。背筋はこんな感じでエビのように顎をあげなあかん」。そう言って実演して見せてくれた。ご立派！

お酒は三日に一回、おちょこに一杯。「味わって飲んでこそ百薬の長です。たばこは、仕事を覚えるのに必死やったから吸ったことがない。それが、かえって良かったと思います」。食事は腹八分目を旨とする。趣味は同好会の会長も務めるカラオケ。娘さん夫婦宅でつい最近、持ち歌である北島三郎の「夫婦一生」を唄ったところ、「92点の点数がつき、機械からお上手ですねとほめられました。歌詞のような妻に本当に感謝してます」。

「気持ちは50代です。まだ若いもんには負けません」。東京の百貨店で11月、叙勲も受けた帽子絞り  
の匠の技を実演してみせた。目指すは生涯現役である。

## 気持ちは50代 目指すは生涯現役です

京鹿の子絞・伝統工芸士（京都市下京区）

おかもと  
岡本

しょうじ  
昇 治さん(80)

健康  
万歳！

モットーは焦らず、慌てず、諦めず。80歳にしてなお現役である。「健康やからこそ、まだ仕事をさせてもらってるんです」。16歳で福井県から出てきて、この世界に飛び込んだ。京鹿の子絞は高度な手わざを積み重ねる分業体制である。岡本さんは、染色しない部分をビニールなどで包み込み、さらに糸を強く巻きつけて防染する「帽子絞り」一筋の職人さんだ。

「親方の所で住み込み修業し、朝から晩まで仕事、仕事。そのぐらいせーへんかったら技なんか覚えられへん」。26歳で独立、結婚。仕事も順調だった39歳の時だ。地元の運動会に出たところ足がもつれ、こけそうになった。「座り仕事のうえ運動もしていなかったから。これはあかん！70になったら、よぼよぼや」。一



毎日、  
鍛えてます!!

